

ゆめだより

～社会福祉法人松本ハイランド令和元年度下期の活動について紹介致します～

第 15 号



グリーンケア



看護学生の受け入れ

ご利用者様、ご家族の希望・願いがかなえられれば・・・と日々奮闘しています。

人工呼吸器をつけた方のドライブ・散歩の支援、ご自宅でリフトを使っ
ての入浴の支援、点滴なども行っています。



私達は、地域に親しみ、頼られる訪問看護ステーションを目指しています。

自宅で生活している要介護者や要支援者の方々が、地域でその人らしく生活できるよう生活の支援に努めています。

また、医療的ケアが多くても、ご家族と共に自宅で過ごしたいという方の介護もしています。

今後も、いろいろな形で皆様と連携をとっていききたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

令和 2年 5月発行

発行所 社会福祉法人松本ハイランド

〒390-1242 松本市大字和田 2240-33

Tel : 40-3377 Fax : 40-3370

<https://www.yumenosato.info>

＜ゆめの里和田訪問看護ステーション＞

特集 ボランティア紹介

ゆめの里今井



ゆめの里今井では、地域のボランティア団体に施設内で様々な活動をしていただきました。

この写真は、今井地区で読み聞かせボランティアをされている「ふきぼこの会」の皆様による、絵本の朗読を地域交流ホール「憩」で行っているところです。

毎月一回の朗読ですが、ふきぼこの会の皆様の朗読を聞いていると、そのお話の情景が想像でき、楽しい気分になります。

コロナ終息後にはボランティアの受け入れを積極的にを行い、ご入居者様に楽しんでいただける機会をたくさん提供していきたいと思っています。

※現在新型コロナウイルス感染防止のため、ボランティアの受け入れは中止しております。

ゆめの里 入山辺



ゆめの里入山辺では、JA女性部の方々による喫茶ボラをはじめ、様々なボランティアの方々に活躍していただきました。（現在中止中）

習字ボラ、おやつボラ、朗読ボラ、調理ボラなどご入居者様の生活に潤いを届けていただきました。

コーラスボラの方々に来ていただいた際は、迫力のあるコーラスを全員で楽しみました。歌の力は大きいもので、普段あまり歌わない方が口ずさむ場面も見られました。

ご入居者様の笑顔のためにも、一日も早く安心してボランティアの方に来ていただける日常が戻ることを祈っています。

松本市では、だれもが住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けていくために、地域づくりや人とのつながりと、お互い様を活かした福祉活動を検討する「地域ケア会議」を開催しています。

昨年は、和田・梓川地区11月、新村地区12月に開催しました。和田地区の地域ケア会議では、日常生活の中で、介護保険でなくても使えるサービスの紹介や、地区の集まりの場の紹介のあと、医療介護につなげていくためには、だれがどのようなことを行えばよいのかを話し合いました。

人とのつながり、社会とのつながりの大切さを、再認識しました。



地域ケア会議開催 ～地域の支え合い（生活支援）の仕組みをつくる第一歩～

河西部西地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、地区の集まりの場の立ち上げ・継続支援も行っています。

昨年、和田地区では衣外でサロンが立ち上がり、月に1回開催しています。

今後も各地区の特性を活かし、地域住民の介護予防、地域の支え合いに努めるよう活動していきます。

ゆめの里和田福祉相談センター

認知症サポーター養成講座開催

2月11日、新村福祉ひろばにおいて認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症とはどのような病気なのか、また認知症の方にとのようにつなぐ接し方、良いのかについて、健康づくり推進委員の皆様に分かりやすく説明し、日常でよくある事例への対応を、実際に演じていただきました。

これから地域に根ざす居宅介護支援事業所として活動していきます。

参加者の皆様には認知症や地域の役割について考えていただく良いきっかけになればと思います。



特別養護老人ホームゆめの里和田

子供たちと交流

10月に、『ゆめステージ』で児童館の子供たちとの交流会を行いました。

「おはなしの会」のグループはお話を2つ、「なかよし合唱団」のグループは2曲の合唱、最後に全員で「パプリカ」の歌とダンスを披露していただきました。

一生懸命発表している姿を見て、一緒に手拍子をしたり歌を口ずさんだりしながらご利用者様も楽しまれ、児童館の皆様から沢山元気をいただきましたひと時でした。



ゆめの里朝日宅老所

クリスマスコンサート



クリスマススイブの12月24日にクリスマスコンサートを開催しました。

朝日村のニューゴールドスターの皆様をお迎えし、クリスマスソングや、朝日村の住民ならだれでも知っている追悼歌を、歌っていただきました。

ご利用者様も一緒に歌ったりして、楽しいひと時を過ごしました。

特別養護老人ホームゆめの里今井

クリスマスコンサート



12月18日にクリスマスコンサートを開催しました。

当日は、キッセイ文化ホール所属の管楽アンサンブルの中から、サクソ奏者の皆様にお越しいただき、サクソ四重奏の生演奏を聴かせていただきました!!

生演奏の迫力は本当に素晴らしく、皆様目を輝かせて聴き入っていました。

1月に松本市健康づくり課の甘利さんを講師にお迎えし、腰痛・肩こりかんたんストレッチ講座を開催しました。

「生活の積み重ねが今の自分の体をつくっている」とのお話を聞きながら「らくらくストレッチ」の仕方をわかりやすく教えていただきました。

「これなら続けられそう」「いつでも出来そう」と、会場からは終始笑い声が聞かれ、人にやっていただく心地よさも味わえました。

リフレッシュできたので、ご利用者様のお宅にも、元気な体と心で訪問できます。



ストレッチで体も心もリフレッシュ!!

ゆめの里ヘルパーステーション

ゆめの里今井

福祉相談センター

多職種連携事例検討会参加



多職種の方々に参加して行われた、事例検討会に参加しました。

事例検討会の目的は、事例提供者のケアマネジメントの悩みを参加者と共有しながら、課題を分析する中で、事例提供者が気付きを得る事により、解決の糸口を得る事などです。

今回は、ケアマネ同士だけではなく、多職種との連携で幅広く意見を聞く事で、気付かされた事が多く、とても良い機会となりました。

11月3日入山辺地区文化祭にクラブ活動の作品を出展しました。

花の創作クラブからは「こけ玉」、地域交流クラブからはクラフト講座で作った「つづら藤で作ったかご」「フラワーアレンジメント」、陶芸クラブからは陶芸作品、書道クラブからは書道作品をそれぞれ出展しました。

出展したご入居者様が、飾られた自分の作品を見て、照れたような誇らしそうな表情をしていたのが印象的でした。

入山辺地区文化祭出展



養護老人ホーム松本市立松風園

ゆめの里和田

訪問看護ステーション

和やかに交流会

今回は、11月24日に開催したグリーフケアについて紹介します。

グリーフケアとは、ご遺族の複雑で深刻な心の状態を理解して寄り添うことで回復のサポートをする取り組みです。

訪問看護では、地域交流事業の一環として交流会と題し、毎年グリーフケアを開催しています。

訪問看護を利用されていたご家庭で、ご家族を亡くされた家族を招き、お茶と軽食をとりながら近況報告をして話をしました。今年は、新しい参加者1名を含む8名のご家族の方をお招きしました。

また、和田と朝日の特養の職員も3名参加し、にぎやかにいつもと少し違った新鮮な雰囲気で行うことができました。

参加者の方の趣味である写真や歌の披露、ハーモニカの演奏に合わせて参加者みんなで歌ったりと和やかな会となりました。



朝日村地域包括支援センターと朝日村公民館主催の介護予防サポーター養成講座「広げよう支え愛の手講座」が開催されました。

その中で、「介護保険と村の中にある施設を知ろう」と言う事で、講師として参加しました。地域住民の皆様には「ゆめの里朝日」を知っていただく良い機会になりました。

施設にご入居されても地域の一員であり、自分らしい暮らしを住み慣れた地域で人生の最後まで続けていくには、地域の中での支えあいが必要だと思えます。

その為にも施設を知っていただき、ボランティア等で気軽に施設に足を運んでいただける関係を築いていければよいと思っています。



介護予防サポーター養成講座講師として参加

特別養護老人ホームゆめの里朝日

ゆめの里和田 デイサービスセンター

地域に貢献健康教室開催

これからも楽しい企画を考え、活動再開時には沢山の方に参加していただけるよう準備をしていきたいと思っています。

2時間という短い時間ですが、地域の皆様の健康づくりや憩いの場として役立てばと思っています。

12月は松飾り・粕汁を皆様で作りました。粕汁を召し上がっていただき体はほかほか、お家へのお土産もきれいにできました。

ゆめの里和田デイサービスセンターでは地域貢献活動として、月1回日曜日に健康教室を開催してきました。ゲームや体力づくり、茶話会などで楽しく過ごしていただきました。



ゆめの里新村宅幼老所

ご近所さんとお餅つき

12月27日、ご近所の方をお誘いしてお餅つきを行いました。

皆様昔を思い出し、つき手、合いの手リズムよく、慣れた手つきでお餅がつきあがりました。

つきたてのお餅は、ご近所の皆様、ご利用者様が一緒に丸め、美味しそうな三色のお餅が出来ました。

また普段、宅幼老所で行っている体操を、看護師の掛け声に合わせて皆様で行いました。

ご近所の皆様からは、「なかなかキツイが、みんなできると楽しいね」「杵とうすでついたお餅はおいしいね」いう声が聞かれ、ご近所の皆様と楽しいひと時を過ごし、良い交流となりました。



JA松本ハイランドから寄付

車いすや訪問車を購入

JA松本ハイランドから福祉支援定期貯金「夢・ささえあい」預入総額の0.01%相当額807,603円。また、「夢あわせポイント」の有効期限が満了となったポイント還元として、社会福祉に役立ててほしいと50万円の寄付をいただきました。

当法人では、その寄付金を基に介助型車いす6台と、訪問看護ステーションの看護師がご利用者様のお宅を訪問するための車輛を1台購入しました。ご支援ありがとうございました。



地域の皆さまから寄付

温かな支援をご紹介します

日頃から当法人を気に掛けてくださる方々から様々な寄付をいただいております。花の寄せ植えは施設玄関を明るくし、清拭布やおむつなどは日常のケアに活躍してくれます。マスク不足を心配して手作りの布マスクを寄付して下さった方もいました。施設や職員のことを思うその温かなお気持ちに職員一同励まされるばかりです。改めて感謝申し上げます。



<編集後記>

新型コロナウイルスの流行に緊張を強いられる日々が続いています。記事の内容は流行以前の様子です。一日も早く同じ風景が戻ってくることを祈らずにはられません。

